

平成 28 年度 第 2 回堺市堺区区民評議会 会議録

開催日時	平成28年 6 月20日（月） 午後 6 時00分から午後 8 時00分
開催場所	堺市役所 本館 3 階 堺区役所会議室
出席委員	岩田会長、桂委員、川上委員、佐野委員、信田委員、谷本委員、 間宮委員
事務局職員	堺区役所 射手矢区長、泉森副区長、小尾堺保健福祉総合センター所長 (企画総務課) 大黒課長、三好課長補佐、上野係長、大仲係長、藪主査 (自治推進課) 植松課長、湯川課長補佐
傍聴者	4 名
議 題	1 開会 2 議事 (1) 応募型地域まちづくり支援事業の審査について (2) 大道筋における「場」づくりの取組について (3) 町家の保全・活用のあり方について (4) その他 3 閉会
資 料	会議次第、配席図 資料 1 平成 28 年度「応募型地域まちづくり支援事業」募集要項 (堺区) 資料 2 - 1 平成 28 年度「応募型地域まちづくり支援事業」応募事業 (A 協議会) 資料 2 - 2 平成 28 年度「応募型地域まちづくり支援事業」募集事項 (B 協議会) 資料 2 - 3 平成 28 年度「応募型地域まちづくり支援事業」募集事業 (C 協議会) 資料 3 大道筋における「場」づくりの取組 資料 4 第 1 回堺市堺区区民評議会 主な意見

議 事 の 経 過	
発言者	発言内容
	<p>1 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 応募型地域まちづくり支援事業の審査について</p>
岩田会長	<p>それでは、本日案件が4件ございますが、それでは、案件1「応募型地域まちづくり支援事業の審議について」でございます。</p> <p>今年度は、3件の応募がございました。</p> <p>審査に当たっては、審査の対象となる事業の実施主体である団体に属するものは、当該事業に係る議事に加わることができないことになっていますが、該当する方はございませんでしょうか。</p>
桂委員	<p>私が属する協議会から、審査対象で提出させていただいておりますので、審議をご辞退させていただきたいと思えます。</p>
岩田会長	<p>はい、わかりました。では、別席に移動いただくということでよろしいでしょうか。</p> <p>(桂委員 別席へ移動)</p>
岩田会長	<p>では、審査に当たっての説明を事務局からお願いいたします。</p> <p>資料1に基づき、平成28年度堺市応募型地域まちづくり支援事業に係る審査手順について説明</p>
岩田会長	<p>ありがとうございます。審査手順及び審査項目、審査ポイントなどについてご説明ありましたが、何かご質問ございませんでしょうか。去年に続いて2回目ということですので、大丈夫ですか。</p> <p>それでは、まずA団体の事業概要の説明をお願いします。</p> <p>資料2-1に基づき、A団体の事業概要について説明</p>

<p>岩田会長</p>	<p>まず何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
<p>谷本委員</p>	<p>備品購入費っていうのは、これ今1回使われたらふだんはどうされるんですか。</p>
<p>事務局 (自治推進課課長補佐)</p>	<p>こちらにつきましては、この事業を次年度以降も引き続いて同じ取り組みを進めていくということで、継続性のある事業ということで購入が必要かと考えています。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>基本的に、単年度の支出予算、支出ではあるんですけども、備品は次の年に引き継いでいいというか、そういう方向はよろしいってことですか。</p>
<p>事務局 (自治推進課課長補佐)</p>	<p>同じ事業で継続性があるということで認められる場合は購入については認めております。ただ、単発ということでございましたらレンタル及びリースなどで対応いただくように説明はさせていただいております。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>何年間使うんですか。</p>
<p>事務局 (自治推進課課長補佐)</p>	<p>我々のほうでちょっと備品台帳の管理はさせていただいております。購入なさったときは、その対応年数っていうのもそれぞれ年によって変わってきます。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>その分の備品購入費の占める割合が大きいので、そういう意味ではちょっと気にはなるところですね。</p>
<p>事務局 (自治推進課長)</p>	<p>この校区まちづくり協議会において、今回申請していただいた事業はもちろんですけども、校区まちづくり協議会でを行う行事や活動について、この備品等使用頻度を上げてもらうような形で使用してもらうように、協議会にはお話はさせていただいております。我々としても、この備品が眠っているというよりもレンタルで借りる方が安いっていうのは困りますので、使用頻度でもちろん備品の管理もきっちりやってもらうような形で説明させていただいております。</p>

<p>岩田会長</p>	<p>他に何かございませんでしょうか。</p> <p>私のほうからですけど、その女性に活躍していただくっていうのはすごく重要なことでして、そういう方たちをどういうふうに自治会とか自治組織の中に加わっていただこうかということを考えてうえで、そのきっかけになるような事業なのかなと思うんですけども、なかなか今まで加わってこなかったということについては、それはやっぱり子育てに忙しかったりとか、仕事で忙しかったりとか理由があるのかなと思うんですね。要するに、今ある団体の、特にシニアの方たちはすごく時間もあるし知識もあるし頑張ってくさっているんですが、そういう方たちと本当にうまくつながっていくというふうな仕掛けになることが今回の事業の目標ではないかなと思うんですけども、ちょっとその辺の将来っていうのが見えにくい部分があるので、講演会とか人形劇とかワークショップとかっていうふうな企画ですけども。将来につながっていく様子がもうちょっと今ひとつ薄いかなという部分がありまして、そこをうまくやっていけるというふうなことを、ちょっとどのように説明受けてらっしゃるかなということをご紹介したいんですけどもいかがですか。</p>
<p>事務局 (自治推進課課長補佐)</p>	<p>今委員おっしゃられたように、女性の方ですとかちょうど子育て世代の方ですね、なかなかちょっとお時間が取られにくいということで、今は、これらの地域活動にご参加いただく機会が少ないということなんですけども、今後すぐにこちらのほうで申請上がっているような形での活動っていうのは困難かとは思いますが、この事業を継続させていって女性からの視点で見た地域活動、例えば防災関係ひとつにつきましても、男性だけでは気がつかないという点がございます。そういったところなんかも事業の中で取り入れていきたいと。ただこれにつきましても、やはり地道な努力が必要ということなので、ちょっと若干数年はかかるかもわかりませんが、こちらの校区のほうではこの女性、また新たな世代に引き継ぐための基盤をつくっていきたいということで今回申請を上げてきております。</p>
<p>事務局 (自治推進課長)</p>	<p>この1部、2部の実施後に、3部の意見交換会っていう形で子育て世帯や女性の方に集まっていたということなんですけども、説明があったようにその中で今後の校区まちづくり協議会の活動において、例えば防災訓練等に関してなんですけども、男性にはなかなか気</p>

	<p>づきにくい視点を通して、その年度に防災訓練を実施するという ことで、そういうような今後の活動に生かしてもらうための意見交換会 を実施するという。ですから、今後校区でそれぞれ事業をいろんな 事業をする上に置いて、どういうような視点で、女性の視点とか子育 て世帯のそういうような意見を取り入れることができるかっていうの もこの3部の意見交換会で実施していただければと思っております。</p>
岩田会長	<p>3部の意見交換会というか、ワークショップとか、そういうところ が非常に重要な位置づけであるということですね。</p>
事務局 (自治推進課長)	<p>はい、そうです。</p>
岩田会長	<p>では、A協議会の今の評価、審査表のほうに基準点と点数をお書き ください。協議会ごとにこの用紙を集めたいと思います。</p>
岩田会長	<p>では、審査表はよろしいでしょうか。じゃあ回収していただくとい うことでお願いします。</p>
	<p>資料2-2に基づき、B団体の事業概要について説明</p>
岩田会長	<p>はい、それでは何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
間宮委員	<p>これ2日間で何名の方がこのイベントに来られるんですか。</p>
事務局 (自治推進課課長補佐)	<p>人数ですけれども、展示の部で200名、演芸の部で500人、トータル 700名を参加されるということで計画しています。</p> <p>参加者が700人お越しいただけるといふふうにて、この役務費と して、展示演芸等文化祭参加者の保険を積算しております。</p>
岩田会長	<p>参加者全員に保険がかかるってということで、そういう意味ですね。</p>
事務局 (自治推進課課長補佐)	<p>はい。</p>
岩田会長	<p>他にいかがでしょうか。</p>

<p>谷本委員</p>	<p>非常に細かいことで申しわけないんですけど、支出内訳の中のマイクチューナーやデッキ、これは購入ってということですか。</p>
<p>事務局 (自治推進課課長補佐)</p>	<p>いえ、リースですのでそのときだけになります。</p>
<p>谷本委員</p>	<p>リースですよ。ちょっと私これ借りたことないんですけど、これぐらいの額が妥当なものなんですか。</p>
<p>事務局 (自治推進課課長補佐)</p>	<p>借りる機器によって、値段が変わってきます。</p>
<p>谷本委員</p>	<p>そうなんですね。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>専門家をお呼びしてということでそういうお金がかかるということなんですかね。他にございませんでしょうか。</p>
<p>川上委員</p>	<p>非常に恵まれた地域だと思います、とんでもなく恵まれた地域なんです、1番最初のコンセプト、地域課題の中の校区内外を問わずに発信するという部分の説明がよくわからなかったんです。校区内外を問わずに発信するというのはどういうことなんですか。</p>
<p>事務局 (自治推進課課長補佐)</p>	<p>こちらのB校区にあります歴史的・文化的資源ですね、その分をこちらの校区だけでなく、近隣校区のほうにもこのイベント、行事、参加いただくような形でご案内をいたします。それで、こちらの校区のすばらしさを発信していくということです。地域だけにとどまらないということですね。</p>
<p>川上委員</p>	<p>でもそれだともう既にこれ発信されていますよね。市のほうでもどこでもこの内容は。それ以外にどんなものがあるのかなということですが、最後に展示項目、内容、写真等はB校区紹介の製本として発行する予定というのは載っていますが、この内容だともっとすぐれたものがあるような気がするんです。ですから、コンセプトの内外を問わずに発信するというのが物すごく光っているんで、どうなんやろうという感想ですが、皆さんどうですか。他の地域だったらこれでい</p>

	<p>いんですけどね、この地域だともう出し尽くされている場所です。</p>
岩田会長	<p>意外と地元の方はそのすばらしさを認識してない可能性もあるということもありますね。</p>
川上委員	<p>そこは物すごくいいんです。地元の人が地元を知るっていうのはまちの誇りになりますんで、そこは大賛成しています。この最後の内外にというところ気になったんです。</p> <p>質問じゃないですよ、そういう意見です。</p>
岩田会長	<p>私もそういう意味で、製本・発行だけじゃなくてもっといろんなPR、内外にPRする方法があるので、そういうこともさらに考えて、やっている途中で考えていただけるといいなって思いますが、ちょっとコメントとしてお伝えいただけたらうれしいんですけど。</p> <p>他によろしいですか。</p> <p>はい、では、B協議会の審査に入りたいと思います。応募団体B協議会のほうに採点をご記入ください。</p>
岩田会長	<p>よろしいでしょうか。では回収のほうお願いいたします。</p>
岩田会長	<p>それでは次のC協議会のほうのご説明をお願いします。</p> <p>資料2-3に基づき、C団体の事業概要について説明</p>
岩田会長	<p>何かご質問、ご意見ございませんでしょうか。</p> <p>高齢者の孤独死でしたっけ。何か孤独な高齢者が多いというふうな印象を受けたんですけれども、今どれぐらいの方が孤独に暮らしてらっしゃるというか、そういうことも十分な把握ができてないということでしょうか。もうそれはできていて、それを土台に次の活動をするということなんでしょうか。</p>
事務局 (自治推進課課長補佐)	<p>十分には把握はできてないということです。ただ、応募型まちづくり支援事業で上げてきたのはここ数年、年間数例の孤独死っていうのが事例として挙がってきておるといことです。そういった事例をひとつでも少なくしたいという思いから、こちらの校区まちづくり協議会が中心となりまして、この校区の関係諸団体と連携を組んで見守り</p>

	<p>事業を行っていききたいということです。これは見守り事業は最終目標でございます。</p>
岩田会長	<p>2,000世帯のうち、年間4、5人も孤独死があるというのはちょっと多いんですよね。ちょっと違います。</p>
事務局 (自治推進課課長補佐)	<p>年間2、3人というふうに、私は聞いています。</p>
岩田会長	<p>そうですか。最近ちょっとどこでもそういうのが多いですね。</p>
間宮委員	<p>僕も知識不足なんですけど、こういったことは役所の中ではやらないんですか。</p>
事務局 (自治推進課課長補佐)	<p>役所の中でもそういった校区福祉委員会さんですとかね、包括とかで、見守り活動を地域でしていただいています。ただ、こちらの地域の中ではそういった活動が今ちょっと十分に機能していないということで、今回校区の中の関係団体も協力して進めていききたいということで、今回申請で上げてきたということです。</p>
事務局 (自治推進課長)	<p>各種団体の活動ですけれど、地域全体を対象なんですけども、ただ校区福祉委員会さんとかが把握、民生委員会さんとかが把握できているのは一部の方の情報のみということで、それについて見守りに関してもその校区全ての方の見守り活動っていうのができていないような状況の中で、各、各種団体がそれぞれ横のつながり協力して、地域を上げてそういうアンケート調査をして、地域で見守っていききたいというような、そういう考えでこの事業実施されているっていうのを聞いております。</p>
川上委員	<p>これも地域課題の一番最初ですが、C校区まちづくりグラウンドデザインに沿ったって書いていますよね。このC校区まちづくりグラウンドデザインについて説明ください。</p>
事務局 (自治推進課課長補佐)	<p>こちらのまちづくりグラウンドデザインといいますのが3つ、そのグラウンドデザインの概要ですけども3つの柱がございます。まず1つ目が「人権尊重のまちづくり」。2つ目が「人と人がつながり助け合</p>

	<p>う活力のあるまちづくり」。3つ目が「暮らしの安全・安心を確保するまちづくり」。この3つの柱をこちらの地域のグラウンドデザインとしております。</p>
川上委員	<p>はい、ありがとうございます。</p>
岩田会長	<p>なんとなく危機感をもって取り組まれるっていう様子がかがえるんですけども、支出についても、それほど変なお金はないのかなっていうふうには思います。他よろしいでしょうか。</p> <p>それでは審査に入りたいと思いますので、C協議会のほうに採点をお願いいたします。</p>
岩田会長	<p>はい、それでは回収をお願いいたします。</p> <p>では、今から集計なんですけども、時間がかかりますので、先に案件2「大道筋における「場」づくりの取組について」、案件3「町家の保全・活用について」を先に審議を進めていきたいと思います。その後、審査結果を報告させていただくことにしたいと思います。</p> <p>(2) 大道筋における「場」づくりの取組について</p>
岩田会長	<p>では、案件2の大道筋における「場」づくりの取組についてですが、資料3のほうをごらんください。</p> <p>それではこの内容につきまして、概要それから今後のスケジュール等ですね。これについて説明をお願いいたします。</p> <p>資料3に基づき、「大道筋における「場」づくりの取組」について説明</p>
岩田会長	<p>昨年度の答申内容を受けまして、大道筋をモデルとした地域の人や企業などが集まった場づくりの取組ということなんですけども、本格実施に向けたプレ準備会議が6月17日にありましたということと、それから今後のスケジュールについてなどご報告がありました。</p> <p>これについて何かご意見とかご質問ございませんでしょうか。</p>
佐野委員	<p>プレ準備会議が6月17日にあったということなんですけれども、このアンケート調査の結果報告を聞くのに対象者の方が何人ぐらい集ま</p>

<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>られて、どういう感じでの会議になったかっていうことをちょっとお聞きしたいっていうのと、あとこのプレ準備会議に集まった人以外でも準備会議、7月下旬予定っていうことなんですけれども、どういふうにこの準備会議のほうに皆さん集まっていたかかっていうことちょっとお聞きしたいんですけど。</p> <p>ただいまのご質問にお答えさせていただきます。</p> <p>まず人数なんですけども、計15名集まっていたいただきました。このアンケートをお配りさせていただいたのが200名あまり。それでアンケートを回答していただいたのが77でございます。その中で、20件ぐらいがこういう会議があれば参加してもいいよということで、結局そのアンケートの中で参加されたのは10名未満やったんですけども、アンケート回答者ではないんですけども参加したいと、来ていただいたのが6、7名おられて、15名になったということでございます。このプレ準備会議で準備会議、準備を2回するという段階なんですけども、こういう民間の方、いろんな主体の方が集まって議論をしていただくとすれば、どういうスキルを持った方、どういう活動されている方がいいのかというのは、まず沿道の方にお聞きしながら、どういう形でこう本格的な会議まで導いていけばいいのかというのを、我々だけで決めるのではなく、沿道の方を意見を聞いて進めたいというのが準備会議を2回もやっているという趣旨でございます。</p> <p>今回はアンケートの回答者の中から来ていただくということなので、我々が考えている本格会議のほんの一部ということになりますので、7月下旬まででもう一度この沿道の方で、できれば沿道以外の商店街とかまちづくりの活動グループ等々にもお声かけをしながら、できる限り幅広く私どものほう集まっていたきたいということで、準備会議を7月下旬にします。その後本格会議をさせていただくということで、この回数であったり、やる時期、また、予算要求についてこの会議でご意見を聞いていくとなれば、ちょっと時期的にもうちょっとタイトにやるべきやないかというのは、ハード系の部署からはいただいております。</p> <p>それと、この会議の区民協議会のこの会議との関係なんですけれども、さきの市民人権委員会でも区民評議会というのは広く市民の方が集まるというのが評議会の意味で、この9名の委員が学識さんも入れて地域精通者、それと公募委員ということで今9名なんですけども、なかなか9名では広く区民の会議というイメージとちょっとかけ離れ</p>
-------------------------	--

	<p>ているということなので、こういう活性化会議、これは大道筋周辺のエリア限定ですけども、こういう活性化会議の意見等をこの区民評議会に我々のほうでお伝えさせていただいて、その意見も踏まえてここで議論をいただくということで考えてございます。エリアの専門部会みたいなイメージで今後は情報をこちらの会議に入れさせていただいてそういうふうに意見を頂戴するというで考えてございます。</p> <p>私からの説明は以上でございます。</p>
岩田会長	佐野委員いかがですか。
佐野委員	それでしたら、区民評議会議員のほうからもこの準備会議とか会議に参加したほうが良いということですかね。
事務局 (企画総務課長)	実は、大道筋沿道の方ということで、谷本委員には来ていただいておりまして、基本的にこの会議は自由な参加なんですけども、この会議の内容をご報告させていただきますので、あえてこの二重にご参加いただくということは必要ないかなと思っております。
岩田会長	そこは多分報告だけになるのか、そのやりとりがスムーズにできるのかって。
事務局 (企画総務課長)	実を言いますとその会議のしつらえといいますのが、まだこの間15人でやったばかりなので、本格的に集まってその2時間なら2時間の時間をどういう形で進めていくか。こういう会議のやりとりっていうのはある程度我々も過去から経験がありますので、その2時間の時間消費っていうのは予想がつくんですけども、こういう一般の方、いろんな立場の方がこられてその2時間をいかに満足いく形で帰っていただくか。その都度その都度成果を上げていくかっていうのはこの次の準備会議までにしっかりと我々のほうで埋めていかないとあかんと思っております。そうなりますと、この会議との区民評議会の皆様にどういう形で、参加していただくにしてもどういう形で参加していただくのかということも含めてですね、ちょっと私どものほうで検討させていただきたいと思っております。
岩田会長	はい、どうぞ。

<p>間宮委員</p>	<p>ちょっと何か違うような気がするんですけども、もともこの大道筋に場を設けようということは、この評議会でも文化資源を活用していこうということで、大道筋ってそういう意味で形は無いけども資源じゃないですか。でもその資源を生かすには「場」をどうやって使うかということによってその資源が生かされていくというところからこういったものが生まれてきたっていうのが大きいと思うんですけども、会議でそのことを会議しないとこれを出てきた意味がないと。それは評議会からの意見でこれが出てきたんで、評議会の意見を地元の人たちが「じゃあどうしていこうか」という会議にしていけないと、つながっていかないし成果が出ないと思います。そうなってくると、やっぱり評議会としても責任もって参加するべきだと思うし、何かそこが切れてしまっていたらあんまり意味がない。参加した人たちはそういうことを理解して会議をするのであればいいんですけども、ただ単に集まって誰の指導なんだっていうことでは、あまり意味がないですよ。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>そうですね。この絵を見てちょっとそういう点は必要かなということでは思ってます。</p> <p>まずは、みんなで議論する。この地域の人々が主体になって、外との豊かなつながりをもちながら広く議論をして、そこで決めていく場づくりということを評議会の方からご提案いただいて、それをまずはつくろうと。そこと行政とのつながりの中で、民間であるものは民間で、公共がやるものは公共で、共同でやるものは共同でということ。大きな絵を描きながら、ぱっとつくっていくことも含めてやっていけばというふうな思いがありました。</p> <p>そして、もうひとつは、小さく生んで大きく育てようということで、最初から大きなところでやるとなかなかこう、何て言うんですかね、扱いと言いますかどういふふうに進めていくかも難しいので、まずはアンケートに答えていただいた方からですね、いろいろご意見いただいて、ちょっとこれからどうしていこうかというようなところも含めて、この間17日にご意見伺ったところです。</p> <p>今まさに、間宮委員からご指摘があって、我々のこの2つの丸の相互作用という絵という中に、区民評議会というのをどのように関係づけていくかっていうことは、ひとつ改めてそれがどういう形にしていこうかっていう、考えるべきことだということがよくわかりましたんで。そこは、ちょっと我々一度考えさせていただいて、また相談させてい</p>

	<p>ただきたいと思います。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>そうしないと、評議会自体は何やっているかとかかわからないですもんね。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>ご提案いただいて、それを主としてもやったらいいということで、我々も市の方としてやっていこうということになったんですから。それは、そのまま勝手に進めていくということだめだということがよくわかります。その関係づけについては、ちょっと考えさせてください。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>もちろん勝手に進めていってもらってもいいんですけども。こっちをずっと進んでいったら結局何をやっていることかわからないんで。その軸ってというのはしっかり決めて、それに向かってももちろん討論も必要やと思いますけどね。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>今年度につきましては、町家の保存・活用について、新たな議論もしていただく予定ですので、そのあたりも、この会議の方に反映していくようなことも必要だとは思いますが。そこらも含めてですね、この仕組み自体をちょっと考えたいと思います。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>僕はこういうのは、何か予算をつけるためにやらない方がいいと思うんです。予算をつけるというよりも、そういう会議があって、その人たちがそういったことに関心もって自分の知識を向上させたり、意識を高めるだけであって、そこに予算がついてしまうとみんなそっちへ行ってしまうんで。僕は予算をつけるっていうことは、何か僕は1年目は絶対反対だし、みんながその中で、そういうほんとに自的に何かやっていこうってなったときには、初めて予算を考えてはどうか。何かすぐに予算をつけてしまうと何かそれを目的になってしまっやることがあまり結果いいものがないんですよ。</p> <p>そのかかわった人たちの意識が高くなってから、予算がついてやるんだったらいいと思うんですけど。何かすぐに予算をつけるっていうふうになってくると、僕は反対ですね。何かそういう、進め方ね。</p>
<p>谷本委員</p>	<p>そもそもその会議に出られる方がね、大道筋にかかわり合う方が、出れるということはもちろん有意義だと思うんですけども。この場で、</p>

	<p>区民評議会っていうのがまずあって、課題を抽出されているわけですよ。区もいろんな課題をもって、区民評議会からも課題が出てくると。その課題を認識しつつ、出席してられる方がですね、自分の持つ課題とすり合わせて同じゴールに向かって会議する会議であればよいのですが、そういう認識を持たずにいきなり会議出てきてやっても、自分の好きなことまた課題を言い合うだけになってしまって何もならない。その中でやることが決まっていることに対して、予算をつけるっていうのは、私はスピーディーにことが進むのいいと思います。さっき間宮委員がおっしゃったように、予算ありきでやってくっていうのは僕もそれはあまり賛成できないことだと思いますね。とりあえずそういうすり合わせができる、情熱をもった人たちが参加できる会議になってほしいなと思いますね。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>そういうことも含めましてね、最初区長がおっしゃったようにわっと集めてしまっても、何やこんな会議やったら来たくないと思って、一旦減ると思うんですよ。ベクトルが皆さん合っていませんから。今お二人の委員の方のご意見踏まえまして、一定のベクトルを合わせた人が集まっていたとすることが必要なかなと感じましたので。そのことも踏まえて、準備会議までにいろいろ検討を重ねたいと思います。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>そこをうまくやらないとだめですよ。最終的には皆さんにやっぱり賛同してもらわないといけないんで。ぱっと集まって、賛同してもらえない人だけが残るんじゃないかと。全員何かこう理解してもらっているけども、それを先導立っていく人はその中から出て、みんなをひっぱっていくっていうふうにしとかんとね。集まって、分かれてしまうと次はなかなかおもしろくないから行かんこととなってくるんで。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>今のご意見聞きますと、そういう一定のやっぱり勉強する時間っていうんですか、1回目、2回目、講師なり実践化を入れていただいて、こういうまちづくりが基本的に今後進めていきたいというような。何か得られて帰る、得て帰るみたいな達成感がないと。もしくは意見を言って帰るとか、そういう形で次も行ってみようというようなインセンティブがつくような会議として仕立てていかんとなかなかいい会議が成立しないなと思いますので。そのあたり含めて、単に集まって、さあどうぞと言うだけじゃなかなか進まない。</p>

<p>谷本委員</p>	<p>次がある会議ってないとだめですね。きょうこれ終わって次が何ある。その次は一体何なのっていうことがやっぱり見える会議が参加型でいいと思いますけど。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>このスケジュール感とか、内容につきましてもまだまだきちっと決めてないというか、きょうの区民評議会のご意見もいただきながら、進め方を検討したいなと考えております。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>そうですね。そういう意味では非常に貴重な意見をいただいたというふうに思っております。これまでも大道筋を中心といたします、栄の中心市街地についてはですね、いろんな計画とか意見をいただく会とかを通じまして、たくさんのご意見いただいております。それらを一定整理いたしまして、ここに関心のある方、ここに対していろいろいい意見を言っていただけるような方、そういう方集まっていたいて、ベクトル議論、意見を出して、ベクトル合わせをしてそして、同じ希望を共有して皆さんのいい方向へ進めていきたいと。それを、最終ゴールを見据えてできることからこつこつとやっていくとそういうふうな取り組みをしたいと思いました。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>すごく心配しているんです。せっかくこういう場づくりをしようっていうことでまとまってお願いしたら何かしょぼんと沈んでしまって、なくなるかなと思って。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>そういうことのないように、我々といたしましても今いただいた意見や、我々自身もいろいろ考えて、そこのところはいいい仕組みをまた出して皆さんにも意見をいただきたいなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>信田委員</p>	<p>私これ見せていただいたら、活性化会議の方は、具体的な取り組み案について検討してワーキングしていて、それでもう事業化の検討ということで、目的とかやるかが決まっていて、結構前に進みやすいような仕組みをつくっておられるのかなと思います。ただ、そのとき大道筋を中心とした大道筋の方のみの会議みたいな印象を受けるのですけれども。堺区としては、大道筋を堺区全体、堺区民の資源とすれば別に大道筋のその沿線の人だけじゃなくて、堺区全体の人に</p>

	<p>もいろんなことを聞きながら進めてほしい。</p> <p>事業化の検討というところまで飛んでしまっている。それでは、何か目先の小さな目的にしか利用されないのと違うかなと思います。もっと大きい長いスパンで考えたことを去年いろいろおっしゃっていたのが、なくなってしまうのかなと。このスケジュール表見て思いました。その辺も検討していただきたいなど。それと、区民評議会との整合性をどうするかっていうこと、これから難しいなと思っております。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>そうですね。今すぐ取りかかれるもの、3年ぐらいかけてやるようなもの、5年はかかるもの、さらに10年、20年かかるもの、いろいろなものを取り組みのかかる時間も違ってくると思うんで。ここに載せさせていただいていますのは、まずは、今年度のスケジュールという形のあくまで案ですので、さらに次年度、さらにその次という形で、これは、ちょっと何年になるかわかりませんが、ある程度の一定の期間をかけてよくしていくものだというふうに思っています。まず、1年の分を短期的にここへ書かせていただいています。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>短い文章で、文で表現するとこれぐらいの表現しかできないのかもしれないかもしれませんが。せつかくこの評議会から上がってきた事業ですから、それが本当にうまくいってくれることを皆さんそれぞれ思ってもらっちゃるということで。短期間で終わらないものだと思いますので。期待は大きいですね。</p> <p>他は、よろしいですか。そのあたりご報告など、わかりやすくまたしていただけるようにお願いします。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>(3) 町家の保全・活用のあり方について</p> <p>では、次の議題ですが、案件3「町家の保全・活用のあり方について」ということで、審議を進めたいと思います。</p> <p>前回の評議会でも、諮問事項でありました町家の保全・活用のあり方について、ご意見をいただきましたけれども。</p> <p>まず、ちょっと前回の振り返りからしたいかなと思いますが、事務局からご説明を少しお願いいたします。</p> <p>資料4に基づき、「第1回堺市堺区区民評議会主な意見」について説</p>

	明
岩田会長	ありがとうございます。前回の意見についてまとめていただいたご報告がありました。前回、谷本委員は、いらっしゃらなかったですね。谷本委員は何かご質問はございますか。
谷本委員	今このご意見を読ませていただいて、こういう町家を扱うセンターみたいなものをつくるとかいうことが出ているんですけども、これ各地で出てきていますね。京都の事例もそうでしたね。行政の方とそれからNPOの方と一緒に取り組まれているんですけど、やっぱりそういう形の意味をおっしゃっておられるのか、ちょっとその辺が民間でやれるのかとかいうような話はどうなっているんですか。
岩田会長	まだ具体的な話にはなってないです。
谷本委員	そうなんですね。
岩田会長	<p>いろいろまず、最初の段階ですので、意見をいただいたということですね。今ありましたように、マッチング等の仕組みづくりが重要だというようなこととか、それから、情報を集約して提供するような施設が必要だということとか。それから、借りたい人がふえていくというのがいい状況なんですけれども、周辺の環境の整備などというふうなものと一緒に町家を考えていかなければいけないというようなこととか。それぞれ、町家が一個あってその町家がどうという話ではないと思いますので、まちづくりとして考えないといけないかなと思いますので。それぞれいろんな視点を持って、ご意見をいただいたということです。</p> <p>きょうも、この案件ということですので、引き続き、さらにきょう少し他の委員からも、もう一度ご意見を加えていただいて、それでまた谷本委員からもご意見等いただけたらなと思うんですけども。</p> <p>それぞれいかがでしょうか。前回の主な意見に加えて、さらにちょっと調べてみたよとか、それからこんなこと気づいたよとか、何か情報お持ちいただいているとありがたいかなと思うんですけども。いかがですか。お一人ずつ伺ってもいいですか。宿題ということだったですかね。お考えくださいみたいなことだったので。</p> <p>じゃいいですか、桂委員からお願いしてよろしいですか。</p>

<p>桂委員</p>	<p>町家の保全、活用、これ読ませてもらった初めの部分としては、大道筋の方のあれにイメージとしてかぶっている面もありますんで。こちらの大道筋の先ほどに戻りまして場づくりもほうのゴールというのが全然見えてこないんですよ。この初め大道筋を中心とした紀州街道の活性化会議いうの、活性化ということ自体がどういうふうに、今の町家の保全とかぶっていったら、景観重視みたいな感じですか、この町家というのは。それと観光というかそれにもつながっていくのにもっていったらいいのか、資料3のほうとの兼ね合いというか、これはこれで進むのか。先ほどのものに戻りますけれども、この会議してもいろんな意見持ってきてしゃべってもみんな立場、立場が違えば、全然住んでいる人、それからここで商売している人にとって皆捉え方が違っていきますので、ある程度の方向性というのを町家を重点的に全面的に出すのか。ゴールをこれにするのだったら、これでひとつに捉えてやった方が、ばらばらでいくよりはよいと思うんですけどもね。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>すごく心の中に幾つか何かが残っているんですけど。決してさっき信田委員がおっしゃったんですよ。大道筋だけじゃなくって周辺もしくは堺区全体を広めて、やるべきじゃないかということと、実際本当につながっている内容だと思います。もちろんそれを関係づけていくことも大事だと思いますということで、桂委員からその関係づけていくということをご提案いただいているということで理解してよろしいですか。</p>
<p>川上委員</p>	<p>この2つ、私も両方とも見ているんですけど、つながっているようでつながってない、つながっていないようでつながっているような、そんな状況なんですよ、見ていたら。当初は、間宮委員言われたように同じことを思っていました。大道筋に住んでいる方を集めてアンケートとって会議をしたら間違いなく助成金がなんぼうちに入ってくるねやろうとか、そんな話になるような気がしましたが。本当のこの評議会の理念は、こっちの後ろのほうですよ。町家の保全・活用しながら国策である観光にも生かしていくとかそんな部分があったように思いますので、こちらでいいと思うんですが。</p> <p>実は、この内容で話をしているということが当然漏れますね。ネットで見れますからね。実は、明日紀伊田辺市からこれの視察に来られ</p>

	<p>るんです。火曜日なので全部休みなので表だけ、外観だけ見ていただいてね。堺では、こういうことをやっていますよということを話しながら、そっちは何かやっているでしょうということを聞き出そうと思っています。ということで、よその市ではどう考えているのか、それと堺に来る前に、大阪市内にも行っています。その人たちは見て来ています。そのあたりの対比も勉強してこようかなと思っています。ですから、私の考えでは、大道筋を生かすという部分よりも、こっちが軸で大道筋が生きればいいなとそんな感覚であります。両方一緒に考えていけばいい。でも、この人たちだけ集めて意見がぼっと出てきて、我々の考えが全くそこに加味されてなかったら、この会議での議論が流れてしまいそうな、本来の目的と変わってしまうような、そんな気がしますんで、そうならないように当初の我々が考えていることを大事にしながら、これから進めていったらいいんじゃないかなと思います。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>はい、わかりました。</p> <p>そうですね、大道筋っていうものが育っていくにつけてそこだけじゃないというか、さっきからの思いがやっぱり川上委員の中にもずっと強くあるということで。</p> <p>佐野委員、いかがですか。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>ちょっと前、先ほども言っていた大道筋活性化ということもあるんですけども。狭い地域で町家とかを活用したものをつくるということも必要とは思うんです。例えば、伊勢神宮の横のおかげ横丁とかはもう20年前にできただけなんで、古い景観にわざととして古く見せるという感じにしたりとか、あと岡山の美観地区みたいに、本当に狭い地域だけに限られた地域に町家をつくるっていうのもいいと思うんです。それは堺区だけでなく堺市も協力してもらわないといけないことになるんですけども。そういうふうになんか少しできることによって、全体に広がっていくということ、やっぱりこれから魅力的なものをつくっていくということで、区民評議会でも詰めていければいいなということで。前回のやつを見ていたんですけども、堺町家マッチングっていうワードが出てきていたので、そういうのもいいんじゃないかなと思います。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>堺町家マッチングですね。そういうコピーというか、非常に誘引す</p>

	<p>るのに大事なことですよね。それから、彦根なんかもそうですよね。ああいう地域としてどういうふうにつくっていくかっていうことを考えたかどうかということですね。</p> <p>次、間宮委員、いかがでしょうか。</p>
間宮委員	<p>この評議会で、こういった大道筋を中心とした紀州街道の活性化会議というのができ上がっていくというのはすごくいいことだと思うんです。具体的にもものをつくるよりも、そういった討論する場ができ上がって行って、その中で具体的にもものでき上がっていくっていう意味で。そういったものが、この町家の保全ということも、やはりどっかの地域でできていくのが一番いいのかなと思うんですね。ただ、この町家に関しては、既に七道のあたりでそういった取り組みができ上がっていて、何か新しく今度できたんですよ。</p>
川上委員	<p>できましたね。</p>
間宮委員	<p>ですから、イオンができたということもありますし、既に活動しているあの地域に、評議会も一緒に取り組んで行って、地域をひとつのモデルケースとしてつくっていく。ということが、この評議会自体の評議会では何かするのではなくて、評議会の意見と、そこで活動している人たちが一体になっていっていきっていくのがいいのかなと思うんですけどね。その次に、例えばお寺であれば、寺町のあたりのお寺が集中していますので、そういったところに評議会としてスポットを当ててみるとか。限られた時間しかないんですけども、やはり自分たちでそれを押し進めてやっていくには、やはり時間もありませんし、何かそういった地域でやっている人たちにぼんとバックアップするみたいな、そういう形ができていけたらいいのかなと思うんですけどね。町家に関しては、既にそうやって取り組みをやっている地域があるので、そこに何か評議会の知識みたいなものとか、役所のバックアップがもっともっとこの評議会を通じて、投影できるような形ができればいいなと思うんですけど。</p>
岩田会長	<p>はい、わかりました。</p> <p>七道とか、今現状はどんな感じですか。活動の様子っていうふうな。さっきの大道筋の会議というふうなもの。地域の人がどれだけ一生懸命何かってとこなんですけど、七道のあたりは。</p>

<p>事務局 (区長)</p>	<p>一生懸命やってくださっているのは、我々も見聞きしております。 ただ今ですね、間宮委員おっしゃったこと非常にありがたいなと思ったのは、実はですね、大道筋を中心とした紀州街道の活性化というふうな名前をつけさせてもらっていると思います。紀州街道はまさに大和川の方から堺で言いますと、間宮委員おっしゃっていただいたあたりをこう貫いて、そして幅が広がって大道の、あれは東側をずっと通っていくんですかね。さらに言いますと、あの司馬遼太郎が来てくださった紀州街道もずっと西港の方へつながってさらに浜寺へといきます。そういう堺を、南北に貫く大きな通りがあるということで。そこから広げていこうということで、ただただその大道だけを、スポットあててというよりも、その広がる利晶の杜という点で今脚光浴びてますんで、そのにぎわいが大道を通じて広がっていくように、あるいは大小路を通じて広がって行って、堺区全体をにぎわすようなという、そういうイメージでして。シンボリックに大道筋という名前を上げたということです。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>紀州街道というのは、その地域も含めたってということですか。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>そういうことも含めたという。</p>
<p>川上委員</p>	<p>さらに、大小路って言われたから大小路も含んでいるんですね。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>クロスポイントというのは非常に重要なところだと。大小路であったり、フェニックス通りと大道筋の交差点とか、あのあたりにも広がりをもたせていきたいと。</p>
<p>事務局 (企画総務課長)</p>	<p>矢本委員がきのうも、ガシ横マーケットプラスというのを、朝やっていたんですけども。時期をずらしてやるよりも、大小路のイベントと大道のイベントが時期を一緒にやるとか、そういう相乗効果も含んで、議論に入っていただくためには、大小路の活動団体の方も、広くこの会議には来ていただきたいと考えています。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>間宮委員、さっきおっしゃっていただいたように地域の人たちが頑張っている人をバックアップして応援していくっていうのは、ひとつ</p>

	<p>のあり方だとおっしゃっていただきましたけども、我々もそういうことで、いろいろなそれぞれの地域で、それぞれの方が頑張っているのをさらにベクトル合わせをして、相乗効果が、シナジー効果が発揮できるような会議になればいいなというふうな思いがございます。</p>
川上委員	<p>イオンという話でましたけど、イオンというのは企業ですよ。企業そのものが物すごく観光、観光って今言いますよね。これも、国策から出ていると思うんで。協力できないでしょうか。</p>
事務局 (副区長)	<p>協力とかいう話をすれば、いろんな協力はいただけると思うんです。それと今、イオンの中に堺区の昔に写真というのをね、廊下に飾らせていただいて、通りすがりの人がみんな興味深く見ていただいているというような状況にもあります。ですので、いろんな意味でイオンさんと一緒に取り組みできるっていうのもひとつ、いい進め方かなというのもあります。</p>
川上委員	<p>イオンのほうが今提案しているのは、イオンで集まってもらう。あのレンガ建ての建物とかですね。あそこで集まって、2時間ぐらい堺をずっと歩いて、イオンで解散。そんなコースを言ってきているんですよ、向こうから。受けるか受けないかは、別として。</p>
事務局 (副区長)	<p>レンガの建物前の広場、イベントホール的になっとなら、レンガづくりからちょっと歴史的なことも感じますし、すごくいろんな人が集まってくる場所ですね。</p>
川上委員	<p>行政としては協力していこうということなんですね。</p>
事務局 (区長)	<p>もちろんですね。これまでから、七道のあたりを北の玄関口というふうに考えていましたけれども、イオンのオープンということで、それを期初に、さらに具体化していきたいなというふうに思っています。</p>
岩田会長	<p>よその都市なんかでは、そういったショッピングセンターが結構海外からの爆買いのターゲットになっていますけど、イオンさんもきっともしそういうお客さんがあるなら、堺市にどういうインバウンドがあって、そしてイオンにどういった商品をおいたらそういう人たちをさらに呼び込めるかっていうふうな案も、この評議会で何かそんな意見</p>

<p>谷本委員</p>	<p>があってもいいのかなど、意見がありましたと言ってもらってもいいのかなというふうに思いますけどね。</p> <p>イオンさんがいつも緑をイオンの中に木を植えるとおっしゃっているんですが、なかなかその木が育たなくて。枯れちゃう、途中で枯れちゃうっていうのも割とほったらかしなんですね。それを今回堺のイオンつくるときには、少しもっと堺らしく緑をつくってほしいというふうな意見が都市計画審議会の方からでも意見が出ていまして、緑に力を入れていただいたんですが。この間も行ってみたんですが、やっぱりイオンの緑とその周辺の緑とか全然つながらないんですね。</p> <p>堺市の中には、ちょっとした公園にたくさん緑がありまして、すごくいい環境なんですけど、特にイオンのはそのあたりはつながってないかなっていうふうな印象を受けまして、景観をつくっていくというふうなことで、イオンさんは緑というふうなこともひとつキーワードにされているので、一緒にやっていってもらえたらうれしいかなというふうに思っています。</p> <p>先ほどから話出ていましたけれども、大道筋の活性化の別の会議とですね、この町家保全ということのリンクですよ、これよく重複しますけど、認識した上で、その会議に出ていただいて議論をしていただくということは、すごく重要だと思います。</p> <p>それから、要は何言ってもわかりやすいのは、ビジュアルが非常に重要だと考えるんですね。うだつやなんとかね。もちろんこれは大事なんですよ。オーセンティックなものをきっちり残すっていうのは私も全然反対じゃないし、それは王道だから賛成なんですけども。まずビジュアルっていうのは、今すごく重要視されています。我々のお店でも、まず来られたら何するかというと、必ずスマートフォンでうちの店の前で写真撮って、インスタとかフェイスブックとかツイッターとかに上げられますよね。そのようなことが重要です。</p> <p>この場であえて申し上げたいんですけど、弊社のお隣の堺刀司さんが、刃物ミュージアムみたいな形でね、今度オープンされるようなことをお聞きしてまして。改装されているんですけど、外観を町家風にしていただいているんですね。そういうことで、あの筋っていうのは物すごく景観がそろってくるんですね。ああいうことを僕は、区が見逃すと区民のモチベーションが上がらないと思うんですね。ああいったときこそ、区で表彰するとか、そういう意識に対してですね、インセンティブがあれば皆さん協力もしてもらえらるし、それからそう</p>
-------------	---

	<p>いう町並みの景観のそろり部分のスピードもはやくなっていく。ただ、そういう気持ちの持ち方ですよ、そういうことだけでも随分違ってくるのかなと。外観だけでも、今回内田家さんがやられましたけども、ああいうことがあの町並みでそろりと物理的なことですけども、イオンさんで駐車場がありますから、本当に川上委員さんがおっしゃったように、あそこを拠点に車で来られた方なんかは、堺の北部なんかを観光することはもう物理的にできるんですね。</p> <p>実際我々のお店なんかでも、イオンに車おかれて、歩いて来られる方、実際アンケートで出てきています。ですから、そういうことはすごく北部エリアにとってはプラスじゃないかなと。それから、店内にも堺区の写真展示みたいなのをやられていて、区と共同で何かしようかなというような姿勢は見受けられますので。そういう要望というのは区民評議会か、区からもやれば私はいいいコラボできるんじゃないかなと思います。とにかくあそこには、大きな資源が眠っているということを区民の人に気づいていただくことが、この区民評議会の設立している意義でもあるんじゃないかなと思いますので、そういう情報を強く発信していただくということが重要じゃないかなと思います。</p>
岩田会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>なかなかさっきの刃物ミュージアムとかの、市は何も協力はなく個人でやられたということですよ。</p>
谷本委員	<p>そうだと思います。</p>
事務局 (区長)	<p>一部、市も協力しているかと。</p>
谷本委員	<p>そうですか。僕は、補助金とかそういう意味ですよ。私費で多分やられているんじゃないかなと私は認識しています。それは、私もよく事情は知りませんが。</p>
岩田会長	<p>ぜひそういう方たちの動きに何か気づいてあげてほしいですね。</p>
事務局 (区長)	<p>そうですね。本当に市にとって、非常にありがたいことです。民間が中心になって、そういう堺の伝統産業である刃物を見せていただけ</p>

	<p>る。それにふさわしい町家の建物の中で、そうやって見せていただけるというのはありがたいと思いますんで。</p>
岩田会長	<p>みんなで気づきましょう。</p>
事務局 (区長)	<p>情報発信の協力をしていきたいと思います。</p>
岩田会長	<p>信田委員、いかがですか。</p>
信田委員	<p>やはりイオンとか、企業は目のつけどころがすごいなと思いますけれども。フランスでも、今、美しい村 100 選とかいって、過疎の村をもう一度再生して、美しい村として観光化すると同時にそこに住んでいる村の人たちにも活性化していただくというふうなそういうことをされています。</p> <p>確かに、私たちは新しいものというよりも、やはりちょっと古きよきものも見てみたいなという気持ちもわき上がってくることも多いんですけれども。堺区にとって大道筋のあれだけのすごいスペースはよそから来た人も、「あんな広い道路あるのを知らなかったわ」みたいな形で言われるんですけれども、あそこを拠点としているんなことができきて、また町家が生かせるような方針がつけられる。町家と言っても、町家だけがぼつんとあってもなかなか皆さんの生活とか、観光っていうのにすぐに結びつかないけれども。その辺をまたこの評議会とか、区なんかで考えながら、もうひとつ観光とともに住んでいる人にも優しいそういうふうな景色になればいいなと思っております。</p>
岩田会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>とりあえず、いい町をつくるということで、それが観光にもいいし、それから住んでいる人にもいいということが大事で、湯川委員からご意見をいただいております、4項目いただいているんですが、そのまま読ませていただきます。今信田委員がおっしゃっていただいたようなことも少し具体的なご意見になるかと思えます。</p> <p>町家の活用に当たっては、ステップを踏んで取り組むことも必要になってくると考えられます。第1段階として、町家を使って地域の人が集まれる場をつくっていただければどうか。</p> <p>2つ目としまして、町家を改装し古い空間に遊び場や学びの場をつ</p>

	<p>くることで、放課後の子どもたちをサポートすることも考えられる。サポートする人として、地域の高齢者や大学生なども参加することで、地域の活動の場となるのではないか。</p> <p>3つ目としまして、このようなステップを見せることを通して、地域貢献に役立つなら空き家のままでおいておくより、使ってもらいたいとの意識も高まるのではないか。そういう仕組みも考えないといけないのではないか。</p> <p>4つ目としまして、また大学生など協力してくれる人が参画することで地域の人と顔見知りとなることで信頼も得やすくなり、仮にそこで起業などをしようとした人がいれば、そのハードルも下がるのではないかと。というような意見をいただいております。より具体的なご意見として、湯川委員の町家の活用の仕方というふうなことに踏み込んで、お話をいただいております。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>そうしましたら、ちょっと長くなってしまいましたが、町家の保全・活用というふうなことが今年度の重要なテーマでしたので、昨年度は歴史的・文化的資源を活用したまちづくりのあり方ということだったんですけども、もちろんその内容にも深く関連するというふうなことで今年度のテーマがございました。今後、中間報告に答申を反映させていくという内容を皆様からいただいたものと思っております。今までのご意見を踏まえまして、中間報告の骨子を取りまとめ、一度皆様にご確認いただきたいと、事務局で準備を進めておられますけれども、そういうことで、他にきょう何かもう少し言っておきたい方はいますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>では、次回にはその中間報告骨子をお示しし、そしてそれをご審議いただくというふうな予定で進めていきたいと思っております。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>いいですか。先ほどの審査の結果がまとまりましたので、結果についてご報告いたします。審査の結果、6人の結果600点満点で、A協議会は420点、B協議会は435点、C協議会は386点という結果でした。ご報告させていただきます。</p> <p>これをもちまして、評議会としまして、市長に意見具申をさせていただきます。よろしいでしょうか。</p> <p>結果についてよろしいですか。異議ございませんね。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>議題で、町家と大道筋という2つがあったんですけども、何か町家</p>

<p>岩田会長</p>	<p> になってくると、ひとつのものになってくるので。方向性としては、やはり大道筋という公共の場所の場づくりっていう、その方向性のある中に紀州街道も含めて、町家っていうものがあつたほうが、2つでいくよりも一本の方がいいのかなっていう気は個人的に思ったんですけどね。 やはり町家というのは本当に急がないといけないんですけども、それは人の持ち物であり、いろいろかかわりがあると思いますので。こう2つというよりも、大道筋というひとつの道が公共の場としてあつて、そこに町家があるほうがなんとなく進みやすいのかなと思います。 </p> <p> 去年からの続きがことしになってなんか切れてしまったような感じを一回受けましたね。そうじゃないんですよという説明をしていただいて、みんな全部が無関係ではなくつながっているという状況なんですけど、確かにそのつながりがあまり明確じゃないという状態なんですかね。切りたくはないのに、何か切れている状況をもう少し修復したいなというような間宮委員のご意見というふうに伺っていいですかね。 </p> <p> それを評議会としては明確にその位置づけをですね、させていただいた方がいいんじゃないかなと思うんですけどね。なんとなく今切れている状態は、もう少しきちっと整理しましょうということ、中間の中にも入れるのか、中間骨子の中にも入れるのか、それともそれは会議のあり方ということで、別に検討するのかということもあるかと思うんですけど、もう少し明確にそこつながっているんだよということを明確にしたいというふうに考えますけど、いかがでしょうか。 </p>
<p>事務局 (副区長)</p>	<p> 活性化会議につきましては、昨年度の答申に基づいてやらせていただいているというのがあります。ですので、評議会のこんな言い方、いいか悪いかわからないんですけど、評議会が生み出していただいた会議になってくると。今回のお話をさせていただいているといった部分については、昨年度から引き続いて町家についてはもっと深堀していこうやないかということで、やっていただいているんですけど、大道筋を考える中では、町家はもうほっとけないという状況もあると思うんですけどね。ですので、この大道筋の活性化会議の中に、町家を入れてしまうと逆に評議会としてはどうされますかっていうようなところも問題点としても出てくるんすね。ですので、そういった部分もうちょっと我々の方でね、ご検討させていただいて、またお話もさせていた </p>

<p>間宮委員</p>	<p>だいてどうするかっていうのを考えさせていただきたいなと思います。</p> <p>僕が言っているのは、すごい戦略的なことかもわかんないんですけども。町家っていっても、そんなに堺の町家がずば抜けていいわけではないし、他にもいっぱいあるじゃないですか。でも大道筋ってなかなかないじゃないですか。他には。だから、でも大道筋はなかなか公共の場なんで難しいから。でもやっぱり堺区としては、大道筋っていうものをやっぱりもっと売り出していく。そのためには町家を併用したものとか、いろいろひっつけていったらいいじゃないですか。何かそういううまく、つなげて行ってわっといかないと、ぼつぼつと皆やっていると、みんな中途半端になってしまう。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>昨年は、堺区に存在する歴史的文化資源ということで非常に幅広い中で、ご意見いただいたと。それを踏まえて、ことしは審議会におきましては、町家の保存・活用ということでかなり特化したものでやっていただいていると。一個去年いただいた形の中では、大道筋の創出、にぎわい創出事業というような形の大きな会議をやろうと。よりそれを審議会と深いリンクをもってする、堺のもうちょっと大きな目的である歴史文化を生かしたまちづくりという点では、単なる町家単体での活用保存ではなくて、大道筋をにぎわいとか、歴史文化のまちづくりとか観光とかそういったところにもある程度広げたご意見を審議会の中で頂戴するようなことで、どうですかというふうに受け取らせていただいてよろしいでしょうか。</p>
<p>間宮委員</p>	<p>なんかそういう方向がいいかなと思います。それをみんな共有した方がいいかなと思うんです。</p>
<p>事務局 (区長)</p>	<p>そういう方向性で、私どもの方で検討しまして、今度の会議までにはですね、それまでにこういう方向でということは改めてお出ししたと思います。私も、今までのこの会議の流れ、皆さんのご意見を聞いていましてそういうふうにと感じるところもありますんで。そういう方向で調整させていただきたいと思います。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>はい。区長さんには十分ご理解いただけたものと思います。ありがとうございます。</p>

川上委員	仮称ですけども、大道筋を中心としたというどうしても大道筋しかイメージがわからないけど、そうじゃなくて前はもうちょっと地域のことを言っていたと思います。大道筋から東2本目ぐらいまで。そういう感じが表現できると、いいような気がしますよ。
桂委員	幅をもった。
川上委員	そうですね。
事務局 (区長)	そのところは、そうは思っているんです。幅もったエリアというように。
事務局 (副区長)	もともと、いろんな施設が点在しているものを、1つの線にしましょう。そして、線から面に、そういった方向性で進めさせていただいているというところなんですけれども。表現としてどういった表現がいいかなというところで。
岩田会長	きょう紀州街道という言葉が加わっていたんで、それもちょっと戸惑ったのは、戸惑ったんですけど。紀州街道に限定しない大道筋周辺ですね。
川上委員	紀州街道いうたら何か東側だけと思いますよね。大道筋だと道が入ります。
事務局 (区長)	わかりました。そこら一回検討して、すり合わせしながらやらせてもらいたいと。
岩田会長	他にございませんか。よろしいでしょうか。
	(4) その他
岩田会長	案件3まで終わりました、案件4、その他についてですが。今後のスケジュールをお話いただけますでしょうか。

<p>事務局 (企画総務課主査)</p>	<p>今後のスケジュールをご説明させていただきます。</p> <p>次回会議につきましてですね、先ほどいただいたご意見なんかを踏まえて8月上旬を予定しております。会議終了後、少し皆様のご予定のほうを調整させていただければと思っておりますので、終わり次第、時間いただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
<p>岩田会長</p>	<p>はい、わかりました。</p> <p>3 閉会</p>
<p>岩田会長</p>	<p>それでは、以上をもちまして第2回堺市堺区民評議会を終了いたします。長時間ありがとうございました。</p>